



# まんまるはーとで つながりたい！

啓発キャラバン隊「まんまるはーと」による  
知的・発達障害疑似体験ワークショップについて



一般社団法人

尼崎市手をつなぐ育成会

## 団体の概要

【設 立】 1959年(昭和34年)

【会員数】 372名

尼崎市内の知的障害や自閉症の子どもを持つ家族の会

障害者福祉の充実や教育の向上に寄与することを会の目的とし、  
権利擁護・保護者等への研修、啓発などの活動を行っている。

障害の有無に関わらず、すべての人がその人らしく暮らせる  
「共生社会」を実現することを目指している。

## 「まんまるはーと」の概要

【設 立】 2015年(平成27年)

障害者権利条約の署名をきっかけに、日本では障害者虐待防止法、障害者差別解消法などの国内の法整備が進められた。同時に全国組織である知的障害者の家族の会(育成会)でも各地で権利擁護の一環として、「知的・発達障害の疑似体験ワークショップ」の取り組みが始まる。

尼崎では育成会会員によって「まんまるはーと」が結成された。一般の人に向けた啓発活動として、PTAや県・市職員研修などから依頼を受け、無償で講演を行っている。

### 実施目的

知的・発達障害に関する啓発ワークショップ開催の機会を増やすため、リーフレットを刷新し、ワークショップをより幅広く周知する。

一人でも多くの人に、「障害のある人の応援団」になってもらいたい、という親の思いを出発点にして、「こころのバリアフリー」「共生社会」の実現を目指す。

### 実施内容

知的・発達障害のある人は、その外見からは何に困りごとがあるのかが分かりづらく、誤解されやすい。

障害の疑似体験を通じ、何に困っているかを体感し、「人の理解」や「手助け」「協力」が大きなサポートになるということを感じ取ってもらう。

分かり合えるコツ、接し方のコツなどの実践的な関わり方を多くの具体例を基に紹介。

### アンケートより

とても考えさせられる内容だったので、もっと多くのことを知っておきたいと感じました。

また、図・イラストが多い資料でとても分かりやすかったです。

私は今まで知的・発達障害の人を見つけてもどう話しかければよいか分からず、声をかける勇気も正直ありませんでした。ですが今回の講和を聞き、何に困っているか、どんな助けがあるのかが分かり、今まで以上にそういった方々の手助けができるかなと思いました。

私の周りにも精神障害の友達がおります。その子もいつも一生懸命頑張っていることを知っています。

すごく理解しやすくて勉強になりました。